



平成26年 7月 8日

理事・監事、地方協会長
サポーター・リーダーの皆様へ

JAIFAハートフルファンデーション委員会
委員長 泉口 享子

「ハートフルファンデーション」

26年度支援先ご提案・ご推薦のお願いと委員会の最新ご報告

皆様方にはお変わりなく、ご活躍のことと存じます。

日頃は、JAIFAの諸活動、とくに「ハートフルファンデーション」に特段のご支援を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

さて、ハートフルファンデーション委員会（FMC）では、平成26年度の「年度毎の期限を定めた支援」としての支援先、選定作業に入りたいと思います。支援先の選定については、理事・監事、地方協会長、サポーターの皆様からのご提案、推薦のあった案件をベースとして、FMCで検討のうえ、委員会としての結論を出すこととされています。そのうえで、9月5日（金）開催予定の理事会で、ご承認をいただく予定で準備を進めております。承認後、すみやかに募金活動に入りたいと考えております。

つきましては、皆様方からぜひとも支援案件のご提案・推薦を7月末までに本部事務局にお寄せ下さいますようお願い申し上げます。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

なお、7月7日現在、東北ブロック磯前ブロック長から津波で全壊した福島県いわき市にある知的障がい者のための作業所支援の要請が寄せられています。この案件は、福島県社会福祉協議会からの要請によるものとのことです。

JAIFAとしては、過去2年間、岩手県「藤の園」、宮城県「トレーラーハウス」の支援実績の継続性からみて、福島県への支援についても情報を頂きました。このため、7月7日（月）のFMCに磯前ブロック長にご出席いただき、

- ①なぜ、この作業所なのか、県の推薦理由、比較材料として他に類似の案件はないのか（要請の経緯）
- ②国、県、市町村の同施設に対する支援計画はどうなっているか（緊急性と独自性）
- ③金額の妥当性
- ④利益相反問題、反社会的勢力との関係はないか

以上の諸条件について説明いただき、詳細にかかわる点については、再度、調査をして頂くことに致しました。

同案件については、有力支援先の一つと判断されますが、これも皆様方からのご提案、推薦案件が揃ったところで改めて検討したいというのが、FMCの基本姿勢です。

以上、先ずは、7月7日（月）現在における状況をご報告申し上げ、皆様のご協力をお願い申し上げます。

以上